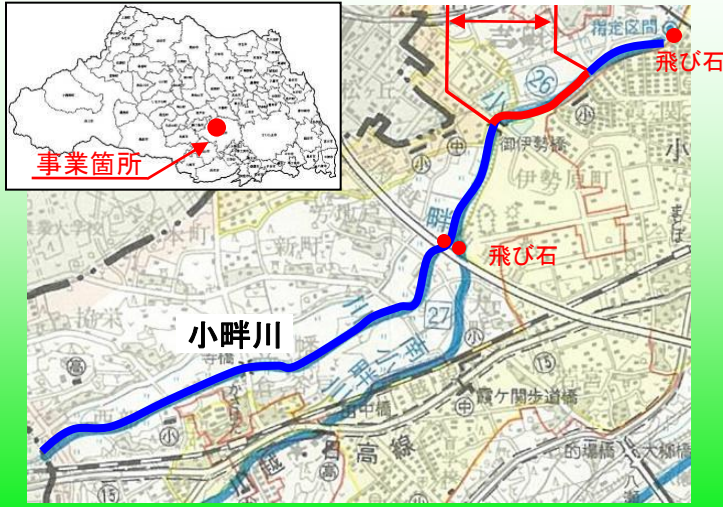


位置図



事業概要

開始年度 平成22年度
 事業延長 L=745m
 事業内容 遊歩道 L= 523m
 魚道整備 1箇所
 飛び石 3箇所

地域の声

スロープができて、大変歩き易くなった。
 さらに遊歩道を延伸してほしい。

事業経緯

- 小畔川水辺再生検討会
- ・第1回(H22.11.25)
 - ・第2回(H23. 3 . 3)
 - ・第3回(H23. 3 .16)
 - ・第4回(H24. 3.21)見学会
 - ・第5回(H24.5.15)見学会
 - ・第6回(H24.10.5)披露会

測量・設計(H22.6~H23.1)

工事(H23.11~H24.8)

検討会メンバー

自治会(17団体)、河川愛護団体(4団体)、霞ヶ関北小学校、川越市、県



地域活動

- ・河川愛護団体が年に2回清掃活動を実施
- ・河川愛護団体が毎年川のイベントを実施

整備の状況

整備前



整備後



大きな落差で魚が遡上できない(H22.5撮影)

階段状にして落差を緩和した(H24.8撮影)

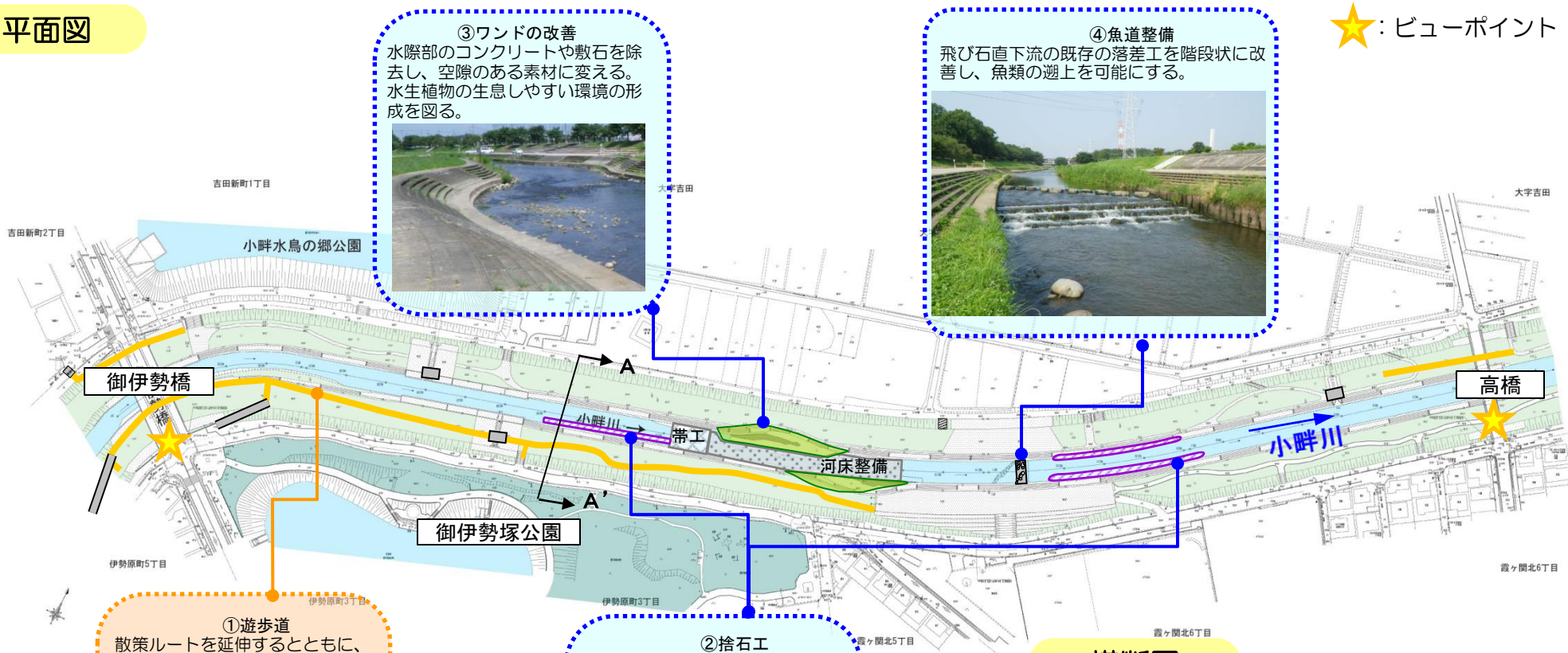
事業概要

整備テーマ ポイント

みんなが利用しやすく、水辺に親しめる空間づくり

- ポイント①: 自然と触れ合え、利用しやすい場をつくる
- ポイント②: 水辺に近づきたくなる、良好な水環境をつくる
- ポイント③: 河川の自然環境と調和した景観をつくる
- ポイント④: 生き物が生息しやすい環境をつくる

平面図



★: ビューポイント

③ワンドの改善
水際部のコンクリートや敷石を除去し、空隙のある素材に変える。
水生植物の生息しやすい環境の形成を図る。



④魚道整備
飛び石直下流の既存の落差工を階段状に改善し、魚類の遡上を可能にする。



①遊歩道
散策ルート延伸するとともに、
河川敷へのアクセスとしてスロープや階段を整備。



②捨石工
水際に生物が生息・生育しやすい環境を形成。



横断図

